

第5章 御堂筋の国際ストリート化

「水都・大阪」の創生にあたって、大都市を支える「背骨」となる御堂筋を魅力と風格溢れる国際ストリートに仕立て上げていく必要がある。幸いにも、御堂筋は、銀座の3倍もの長さを有する日本屈指の通りであり、国内外の人々を惹きつける魅力的なコンテンツを付加することで、世界有数のストリートになる可能性を持っている。

2010年のアジアを中心とする観光ビッグバンを見据え、ビジター獲得に向けた都市間競争が激化する中、御堂筋の活性化戦略は大きな意味を持つ。

世界の人々が、「水都・大阪」と言えば、真っ先に「御堂筋」を連想できるような、ショッピングや食事の楽しみ、知的刺激をそそられるような通りにしなければならない。そのためには、美しい都市景観の形成、人や環境にやさしいアメニティの創造、芸術や文化の香り等を戦略的に創出することで、御堂筋が持つポテンシャルを開花させなければならない。

また、御堂筋は、ビジネス面における活力をあわせ持ったストリートとして発展させるべきであり、国際的な企業やホテルが進出したくなるような都市インフラの整備（高さ制限の見直し等）が必要である。

具体策 ロータリー型交差点に噴水を

- ・御堂筋は70年以上の歴史に培われた風格がある。その全長は4.5kmという非常に長い直線道路であるが、この長い通りにアクセントをつければ、風格にプラスアルファしたものを観光客に訴求することが可能である。
- ・第3章で提案したシンボルタワーは、御堂筋の北域に位置するが、ブランドショップが並び、人々が多く集まる御堂筋南域のアクセントとして、ロータリー型交差点の設置を提案する。その中心部には、「水都・大阪」を象徴するような大きな噴水を配置し、観光スポットとして、また、人々の憩いの場として整備する。
- ・このロータリーは、噴水を前景に、ブランドショップ街や文化的施設等をサイドに、シンボルタワーを真正面に捉えることができるポジションにあるため、御堂筋を紹介するのに相応しい場所となり、記念撮影スポットとして多くの観光客に利用されることになる。

具体策 観光 L R T（低床式路面電車）の導入

- ・御堂筋は、車の通行量が多いため渋滞も多く、人や環境に優しいまちとはいえない。第6章では、環境先進都市宣言について提案するが、御堂筋も人や環境に優しいまちを目指すべきである。
- ・初めて訪れる人にもわかりやすく、安全で楽しく、しかもバリアフリーである交通手段として、低公害の L R T を運行する。停留所の間隔は、短い距離間隔に設定し（400m程度）来訪者の利便性の向上を図る。
- ・御堂筋への L R T 導入をモデルケースとして、将来的には、水上交通体系とのネットワーク化や、難波宮・大阪城など他の観光スポットへの回遊等、広域的な運行も視野に入れる。ヨーロッパの主要都市（仏のストラスブール、独のフライブルク等）が L R T の導入により、都心を甦らせ活性化に結びつけている事例は大いに参考にすべきである。
- ・また、通行料制の導入などにより、通過目的の車両の御堂筋流入を極力抑えるとともに、地下駐車場や駐輪場を整備する等環境に配慮した街づくりを行う。

世界中・日本中のブランド品が全て揃っている街
人が歩いて楽しめる御堂筋

具体策 世界有数のブランドショップ街

- ・外国人旅行者への日本の観光魅力に関するアンケート調査において、いつも上位にランキングされるのがショッピングと食事である。
- ・アジアを中心とする観光ビッグバンを見据え、海外のビジターを取り込むためには、御堂筋を世界有数のブランドショップ街に仕立て上げることが必要である。世界のブランドショップが一堂に会し、また、日本のブランド（匠の技からハイテクまで）を世界に向けて情報発信する場として整備する。
- ・そのためには、御堂筋に進出するブランドショップに対する優遇措置（税の減免、補助金等）や、大阪府・市、経済界による積極的な誘致活動が必要である。

具体策 芸術・文化が香る御堂筋に

- ・大阪は古くから繊維のまちとして知られているが、大阪の伝統文化、感性の高さを強力に発信する場として国内外の現在までの織物の変遷を集積した「国立織物博物館」を創設し、繊維・ファッション関連の国際交流の拠点とする。ショッピングや食事の楽しみと、文化的レベルの高い施設の調和が、来訪者を惹き付けることになる。
- ・御堂筋に場所を限定するわけではないが、来訪者の知的刺激をそそる施設として、世界や日本の歴史を学び、感じ取ることができる世界最大規模の「国立大歴史博物館」を創設する。
- ・御堂筋沿いにおいて、トピアリー（植物を人工的、立体的に形づくる造形物）の国際コンペを定期的実施し、受賞作を「水都・大阪」のシンボルと認定して、河川敷公園等に常時展示する等のインセンティブを提供する。
- ・国内外の来訪者に優しいサインシステムを整備する（４カ国語標記：日・英・中・韓）。サイン自体もひとつのアートとしてPRする。

具体策 大阪市都市再生本部による活性化戦略と高さ規制の撤廃

- ・ 御堂筋の国際ストリート化を目指した取り組みにあたっては、全体ビジョンを見据えた計画的な開発が必要である。その際には、美しい都市景観づくりや、安心・安全な街づくりといった環境整備がベースとなる。
- ・ そのために、大阪市都市再生本部が一元的に御堂筋の活性化戦略を計画・実行することを提案する（縦割り行政の弊害を阻止）。
- ・ 空洞化する大阪都心を再生するためには、御堂筋とその周辺地区に、国内外の資力と叡智を取り込むことで、流出超過に陥っていた中枢機能呼び戻すことが必要である。
- ・ その一環として、大阪市都市再生本部は、進みつつある容積率の上乗せに加えて、御堂筋又はその周辺地区における高さ制限の見直しを実施すべきである。